

## 第6学年 道徳科学習指導案

1 主題名 自分のよさを伸ばして

2 教材名 「僕のヒーローアカデミア」(出典：堀越耕平 第1巻 一部改作)  
A [個性の伸長]

### 3 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値や指導内容について

本主題は、新学習指導要領の内容項目A [個性の伸長] の「自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと」を中心の道徳的価値としている。人間は、誰でも長所と短所をもっている。深く自分を見つめ、自分の長所や短所に気づき、自分自身を知ることは、自分らしさを発揮して、よりよく生きるために必要なことである。また、長所を伸ばし、短所を改めることは、自分をより高め、自信をもって生きることにつながる。

この時期の子供たちは、自分のことを肯定的に捉えることの難しい時期に入り、人と比べて自信をなくす児童が増えている。友達のよさを見つけて伝えることはできるが、過度に自分と友達を比べて自己肯定感が低くなってしまふことがある。自分のよさを認めようとする心情を育む指導が必要となる。

そこで、本主題では自分の長所や短所と向き合うことで、自分らしさに自信をもてるようにしていきたい。しかし、自分自身の特徴について、客観的に捉えることは難しく、自分で感じている特徴は、他者との比較の中から感じていることであつたり、他者からよく指摘されたりした経験から自分についてのイメージをもっていることが多い。そのため、友達の見方や考え方を得られれば、多角的に捉えることができると考える。多様な視点から自分を見つめる時間をもつことで児童一人一人のより豊かな自己形成につなげ、将来を見据えて自分のよさを伸ばそうとする心情を育てたい。

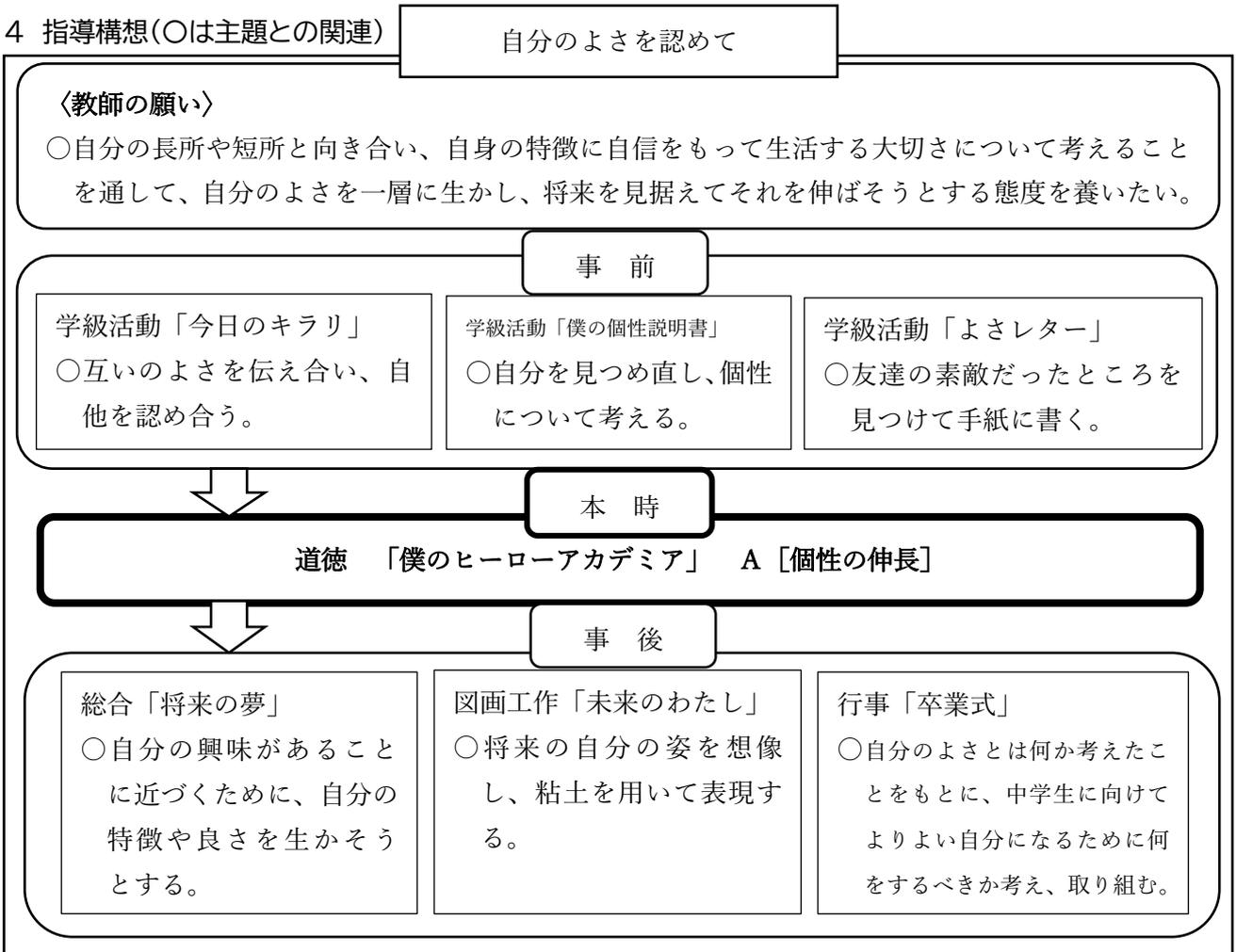
#### (2) 子供の実態と教師の願いについて

※個人情報保護の観点から削除

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、世界総人口の約8割が何らかの特異体質「個性＝能力」を持った人達が存在する社会。個性を利用した犯罪も多発するようになる。そこで、事件を解決するのがヒーローという誰もが憧れる職業としてのヒーローである。その中で NO.1 ヒーロー「オールナイト」が平和の象徴としてうたわれ、みんなのヒーローだ。この話の主人公である「緑谷出久（デク）」は「人を助けたい」という気持ちは人一番強く、温かい心をもっている。親が個性（能力）をもっていながら無個性（無能力）というとても稀な体質で周りから「個性（能力）がないらしい」などとからかいを受ける。自分の無個性について、ただ否定的に捉えるのではなく、肯定的に捉えている場面もある。読みきかせをしながら、主人公と自分を重ねて考えられるようにしていきたい。努力を重ね中学3年になった出久は、超名門高校の雄英高校のヒーロー科の進学を希望するが、皆から無理だといわれる。しかし、出久の相手を大切にしようとする優しい「よさ」から動き出す出来事をきっかけに出久の憧れである NO.1 ヒーローオールナイトに通じ「ワンフォーオール」という個性を授かる。子供達も出久と同じように、「自分」について考えたり、他者から見た「自分」について考え、自分の長所や短所について見つめ直したり、それらを伸ばすことのできる資料であると考えた。自分では気付けない特徴にも第三者の視点があれば気付くことができるはずだ。自分という存在は唯一無二の存在であり、誰も代わりができないということに加えて、新たな自分のよさを再発見して欲しい。

4 指導構想(○は主題との関連)



## 5 研究の重点との関連

### 重点1 道徳的な課題を自分自身の問題と捉え向き合う「考え、議論する道徳」の推進

#### ○自分のよさを認める振り返り

「これまでの自分に一言・これからの自分に一言」と問うことで、過去の自分を俯瞰で捉えさせ、これまでの自分自身の行いを振り返りやすくすると同時に、これからの生活でどのように行動していきたいか考えさせる。席の隣同士の児童と振り返りを伝え合い、認め合う時間を設けることで、今後の行動に対しての意欲向上と発表への抵抗感の緩和をねらう。その後、数名の児童を指名し、全体で意見を共有することで、友達と意見を交換するよさや道徳的価値について多角的に考えることができるようにする。

#### ○僕の個性説明書

単元に見通しと意欲をもたせるために、学級活動の時間を使って、「僕の個性説明書」を作成する。事前に行う活動では、自分の外面的な特徴から個性について考えを深める活動を行う。そうすることで、本時に関わる自分のよさを意識させることができると考える。自分のことを知ることによって、自己を見つめるきっかけにもつながる。また、事前の授業で教師が作成した「僕の個性説明書」を提示することで、児童の意欲向上を図る。後の総合的な学習で、個性を生かした自分の将来設計を立てるために役立つものとなる。

### 重点2 魅力的な教材の開発や、指導法の工夫

#### ○漫画「僕のヒーローアカデミア」

本時では、大人気少年漫画「僕のヒーローアカデミア」を扱うことで児童の興味関心と授業への意欲向上をねらう。「僕のヒーローアカデミア」に登場する主人公である緑谷出欠は、個性（能力）が無いため自信がもてないでいる。これは、本時の児童にも当てはまることである。そのため、この漫画を扱うことで主人公に共感しながら自分のよさについて考えることができるはずだ。そして、自分らしさを見つけていく主人公の姿から自分の長所や短所について見つめ直し、それらを伸ばすことができると考えた。

#### ○教材の理解を深めるためのグーグルスライドを用いた教材提示

本時では、漫画「僕のヒーローアカデミア」を用いて、自分自身の個性について考える活動を行う。読み聞かせを行うと、座席の位置によって聞き取りづらかったり、絵が見えなかったりして内容の理解度に差が生じてしまうと感じる。内容を十分に理解できていないと、よりよい学びに結びつかない。さらに、細部まで見たり、言葉を事細かく読んだりすることができた方がよいと考えた。そこで、グーグルスライドを用いて、手元で漫画を見られるようにした上で、読み聞かせを行う。そうすることで、クラスの全員が平等に絵本の内容を読むことができるはずだ。画面共有をすることで、同じ進度で読み進めることができるとともに、教師が考えさせたい場面を意図して注目させることができる。

#### ○よさレター

よさレターとは、友達や先生から自分のよさについて書いてもらうカードである。よさレターを活用することで、自分の長所を多面的に見つめ直すことができると考える。自分では気付けていない長所に気付いたり、自分の長所に少し自信をもてたりすることをねらい、この活動を取り入れた。誰から書いてもらったものかわかるように名前の記入を行うことで、より嬉しく感じると思う。よさレターを使い、自分のよさを認めてもらえたという心の安心感が、自己肯定感を高め、個性を伸ばすための助力になると考える。

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

自分のよさを見つけたり、考えたりすることを通して、自身の特徴に自信をもって生活していこうとする態度を養う。

### (2) 展開

過程	学習活動と発問 (◎：主発問、・：教師の動き)	ねらいにせまる手立て	予想される子供の反応(・)
導入 5分	1 事前に作った自分説明書について振り返り、本時の見通しをもつ。  ○僕の個性説明書を見て自分はどんな人だと言えますか。	○僕の個性説明書を通して、自分の内面的な特徴から個性について考えを深める活動が行えるようにする。(重点1)  ○前時で抑えた個性の意味について確認をする。  ○児童が想像しやすいように教師が手本を示すことで、教材への関心を高める。 <b>【教師の例】</b> ・元気で、マイペースな人です。	・個性とは その人の性格や特徴である  ・明るくてふざけてしまうことが多い人です。 ・穏やかでおしゃべりな人です。 ・責任感のある人です。
展開 30分	2 教材「僕のヒーローアカデミア1」を聞いて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">物語で出てくる「個性とは能力」現実社会では「個性とは自分のよさ」であることを抑える。</div> ○出久は、どんな人ですか。 ・出久には、人を思いやる「よさ」がある。「よさ」は「個性」の一つだよね。  ○オールマイトは、どうして出久に「ヒーローになれる」と言ったのでしょうか。	○グーグルスライドを用いた教材を通して、同じ進度で読み進め、内容を十分に理解することができるようにする。(重点2)  ○無個性(能力)と言われ続けた主人公の姿と自分を重ね合わせながら話を聞き、考えを深められるようする。(重点2)	・無個性といわれているけど、努力をしている。 ・人を助けたいという気持ちが強いの。 ・無個性ということで馬鹿にされている。  ・人を助けるために、考えるより先に体が動いていたから。
	3 前時で行った「よさレター」をよく見てみましょう。自分が気付かなかった「よさ」はありますか。	○前時で作成した「よさレター」を活用することで、物事を多面的に考え、深められるようにする。(重点2)	・おもしろい。 ・優しい。 ・頑張り屋さん。

<p>終末10分</p>	<p>◎「よさレター」をもらって、だれのどんな言葉が嬉しい気持ちになりましたか。</p> <p>○なぜ、その言葉を選びましたか。</p> <p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>○これまで、これからの自分自身について考えましょう。</p>	<p>○自分では気付けない特徴に気付けた児童を指名する。</p> <p>○相手に認めてもらえることで自信につながり、自分のよさを伸ばすきっかけになることを気づかせる。</p> <p>○これまでの自分自身を振り返り、これからどのように行動していきたいか考えられるようにする。(重点1)</p> <p>○友達と意見を認め合う場を設けて、多角的に考えられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○さんは、明るく気配りもできてコミュニケーション能力が高いところがすごいと思う。</li> <li>・○○さんは、周囲のことをいつも気にかけて、声をかけるところが素敵だと思っているよ。</li> <li>・認めてもらえたから少し自信につながってよさを伸ばしたい。</li> <li>・自分のよさをわかってくれて安心した。</li> <li>・これまでは、自分のよいところに自信がもてなかったけれど、友達に教えてもらえて自信がもてた。</li> <li>・自分では気付けない特徴について友達や先生は気付くことができるからもっと個性を伸ばしたい。</li> <li>・友達から「よさレター」をもらってうれしかったので友達のよさにも、気付けるようになっていきたい。</li> </ul>
--------------	---	---	---

## 7 本時の評価

- 自分の長所や短所と向き合い、自身の特徴に自信をもって生活する大切さについて考えようとしていたか。(ワークシート)
- 自分のよさを一層に生かし、将来を見据えてそれを伸ばそうとする心情をもつことができたか。(ワークシート)

## 8 板書計画

個性とは・・・「個性とは自分のよさ」

僕のヒーローアカデミア・・・物語で出てくる「個性とは能力」

◎よさカードをもらって  
「嬉しい気持ち」「明るい気持ち」「幸せな気持ち」

写真  
緑谷 出久

○出久は、どんな人

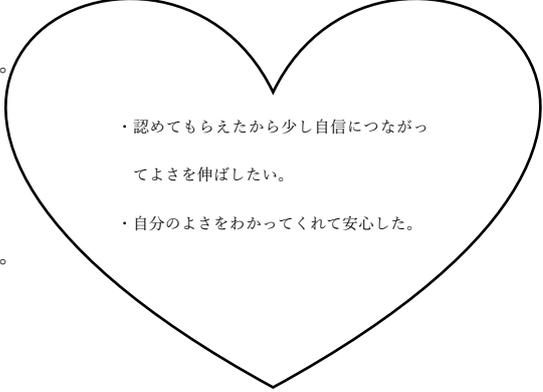
- ・無個性といわれているけど、努力をしている。
- ・人を助けたいという気持ちが強い。

写真  
オールマイト

○「ヒーローになれる」と言ったのはなぜ。

- ・考えるより先に体が動いていたから。
- ・出久の諦めないで頑張る姿が心に響いたから。

自分のよさを大切に

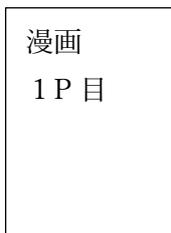


・認めてもらえたから少し自信につながってよさを伸ばしたい。

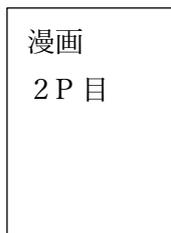
・自分のよさをわかってくれて安心した。

○Googleスライドで話のあらすじを確認（出典：堀越耕平 第1巻 一部改作）

①



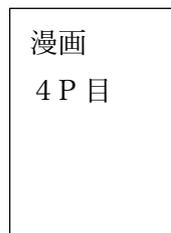
②



③



④



## 9 「僕のヒーローアカデミア」 第1巻あらすじ

物語は、中国の軽慶市で光る赤子が生まれたことから始まります。それ以降各地で超常が確認され、やがて個性（能力）があることが日常となっています。

主人公の「緑谷出久（みどりやいずく）」は、小さい頃から「オールマイト」という No.1 ヒーローに憧れていました。出久は、4歳で個性（能力）が発現せず医師に無個性（無能力）であると診断されてしまいます。大きなショックを受けた出久ですが、それでも上を向いてヒーローになるために頑張ってきました。

中学校の進路希望調査では、大半の学生が憧れであるヒーロー科を志望します。その中、出久と幼馴染の「爆豪勝己（ばくごうかつき）」は、かなりの自信家で偏差値79を誇る「雄英高校」の模試が学校唯一のA判定の生徒です。先生は、出久も雄英高校志望であることを伝えると笑いが起こるクラス内、怒る爆豪、それもそのはず出久は世界の総人口の約8割がなんらかの特異体質、「個性」をもつ世界で無個性なのです。それでもなれるかもしれないと食い下がる出久。しかし、気に入らなかった爆豪が出久が大切にしているヒーロー分析ノートを個性で爆破し、教室の窓から捨ててしまいます。

下校中、出久はヴィラン（敵）に襲われているところを「オールマイト」に助けられます。彼は、オールマイトに「無個性でもヒーローになれますか」と尋ねます。しかし、夢中で話をしている最中にオールマイトが細身の別人になってしまいます。理由を聞くと、5年前のヴィランとの戦闘で負ってしまった胸部の傷で1日3時間ほどしか活動ができないといいます。プロは命がけ、人を助ける仕事はヒーローだけじゃないと諭すオールマイトからの言葉で出久はうつむいてしまいます。

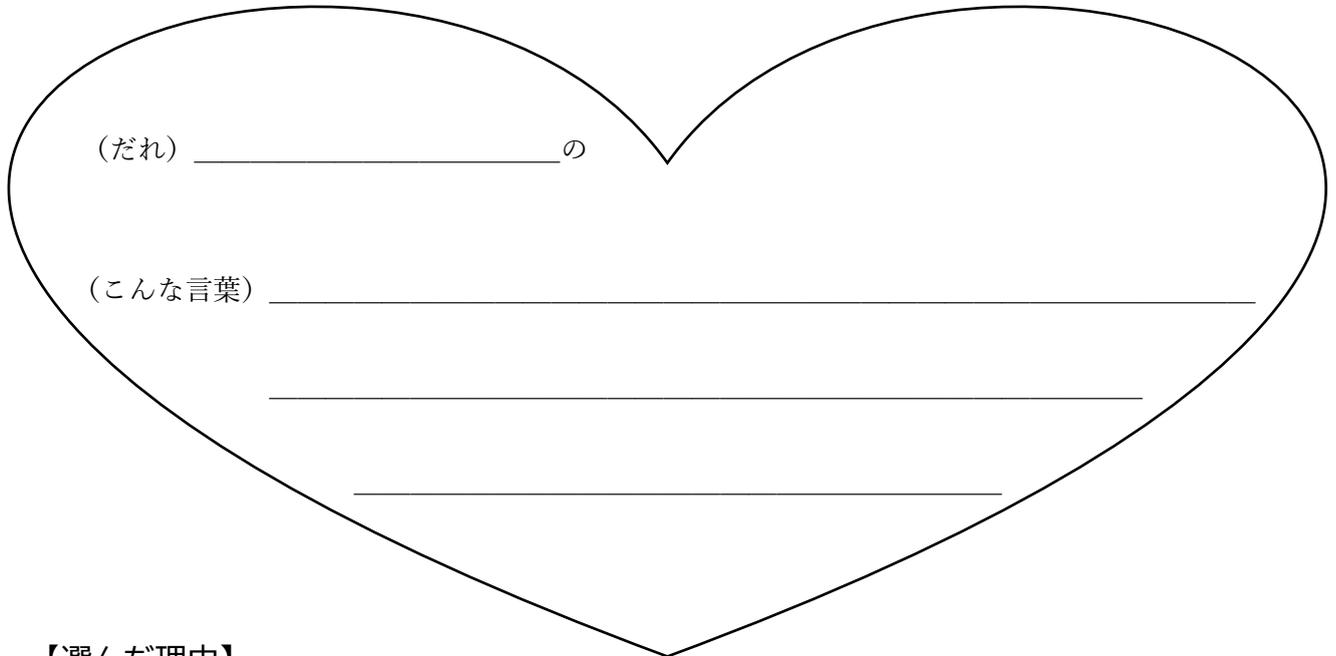
その後、オールマイトは先ほどのヴィランを探しに行こうとすると爆発が起こります。そこにはヘドロのヴィランに爆豪が人質のような格好でとられているためうかつに手を出せないヒーローの姿があります。そして、よく見ると爆豪がヴィランに捕らえられているのを目にします。自分には何もできないどうすることもできない、そう考える出久。しかし涙を浮かべ必死に抵抗する爆豪をみて出久の体は勝手に動いてしまいます。ノートで分析したことを生かしバックを投げつける出久。爆豪は何をしに来たといいます。その問いに出久は「君が助けを求める顔をしていた」と言います。その言動に触発されたオールマイトは自身の活動限界を超えヴィランを撃退します。飛び出したことをヒーローに怒られる出久、長時間ヴィランに抵抗し続けたタフネスを称賛される爆豪。しかし爆豪は自身が出久に助けられた？ことに腹をたて「見下すな」と悪態をついて帰っていきます。「その通り」出久はこれで自分の夢に諦めがつくと思っていた。そこに取材を受けていたはずのオールマイトが現れます。オールマイトは自身のを奮い立たせた出久の言動にお礼とある提案をします。それは出久にヒーローを志してみてもいいというものでした。出久は幼少期に「無個性」と診断された際に謝り続ける母を思い出し、本当は誤ってほしかったのではない、あの時言ってほしかったのは「君はヒーローになれる」。これは緑谷出久が最高のヒーローになるまでの物語です

10 ワークシート

僕のヒーローアカデミア

6年\_\_組\_\_番 名前\_\_\_\_\_

1、とくにだれのどんな言葉が心に残りましたか。



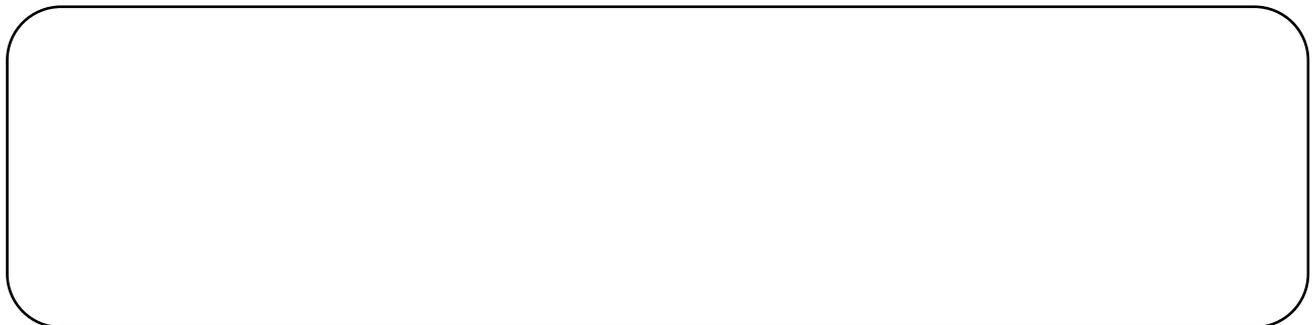
(だれ) \_\_\_\_\_の

(こんな言葉) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

【選んだ理由】



2、考えたこと、これからどうしていきたい
